

～第 87 回メーデー岩手県中央集会あいさつ～

第 87 回メーデー岩手県中央集会にご参加の皆さん。ご苦労様です。日本共産党を代表して心からの連帯の挨拶を送ります。

4 月 14 日以降発生した熊本地震は、いまだに収まらず、余震は 1100 回を超えています。震災関連死 17 人を含め 66 人が犠牲となっています。心からお悔やみを申し上げますとともに被災された方々にお見舞いを申し上げます。岩手県は、すでに医療支援チーム、介護・福祉支援チームを派遣するとともに、住宅危険度判定の技師、がれき処理などの支援に応援職員を派遣しています。盛岡市、陸前高田市からも派遣されました。東日本大震災津波からの救援・復興の経験を生かし、何よりも被災者の命とくらしを守る対策を強化するよう、全力で支援を強化しようではありませんか。

また、東日本大震災津波から 5 年 1 カ月余が経過しましたが、いまだに 2 万人の被災者、ピーク時の約半数となりますが仮設暮らしを強いられています。岩手における復興も正念場を迎えています。被災者・被災地に心寄せて、被災者の命とくらしを守る復興の取り組みを前進させましょう。

皆さん。安倍政権の暴走は各分野で行き詰まっています。戦争法廃止の声と運動は、2000 万署名を含めさらに広がっています。労働者の実質賃金は 4 年連続で減少し、家計消費も落ち込んだままです。アベノミクスは完全に破たんしています。来年 4 月の消費税 10%増税どころではなくなっています。TPP 関連法も今国会での成立を断念しました。国会における野党の地球と国民のたたかひの第一歩の成果です。継続ではなく、撤回・廃案に追い込みましょう。安倍政権の暴走をくい止める国民的な運動をさらに広げましょう。

4 月 24 日投票の北海道 5 区衆議院補選の結果は、野党統一候補が無党派の 7 割の支持を獲得し、相手候補をあと一歩のところまで追い込みました。みんなが力を合わせれば「政治を変えられる」という希望をつくりだしました。すでに全国では参院選 32 の 1 人区のうち、20 選挙区で野党統一候補が実現しています。

岩手における野党共闘の現状についても報告します。本当は、今日のメーデーで野党統一候補が挨拶する予定で協議が進んでいましたが、27 日に、主浜氏が「深刻な症状の家族を抱え、介護と政治活動の両立は難しい」との理由で出馬断念を表明しました。翌日に主浜氏から謝罪と釈明を詳しくお聞きしましたが、理由が理由だけに大変残念な結果となりました。しかし、その後各党は野党共闘で参院選を戦う基本方向を示し、明日、野党統一候補の実現をめざす実務者協議を行うことになりました。知事選挙での野党共闘、これまでの野党協議の到達点に立って、県民・市民の期待にこたえて、できるだけ早く野党共闘・市民との共闘が実現できるよう全力を挙げる決意です。

第 87 回メーデー万歳！